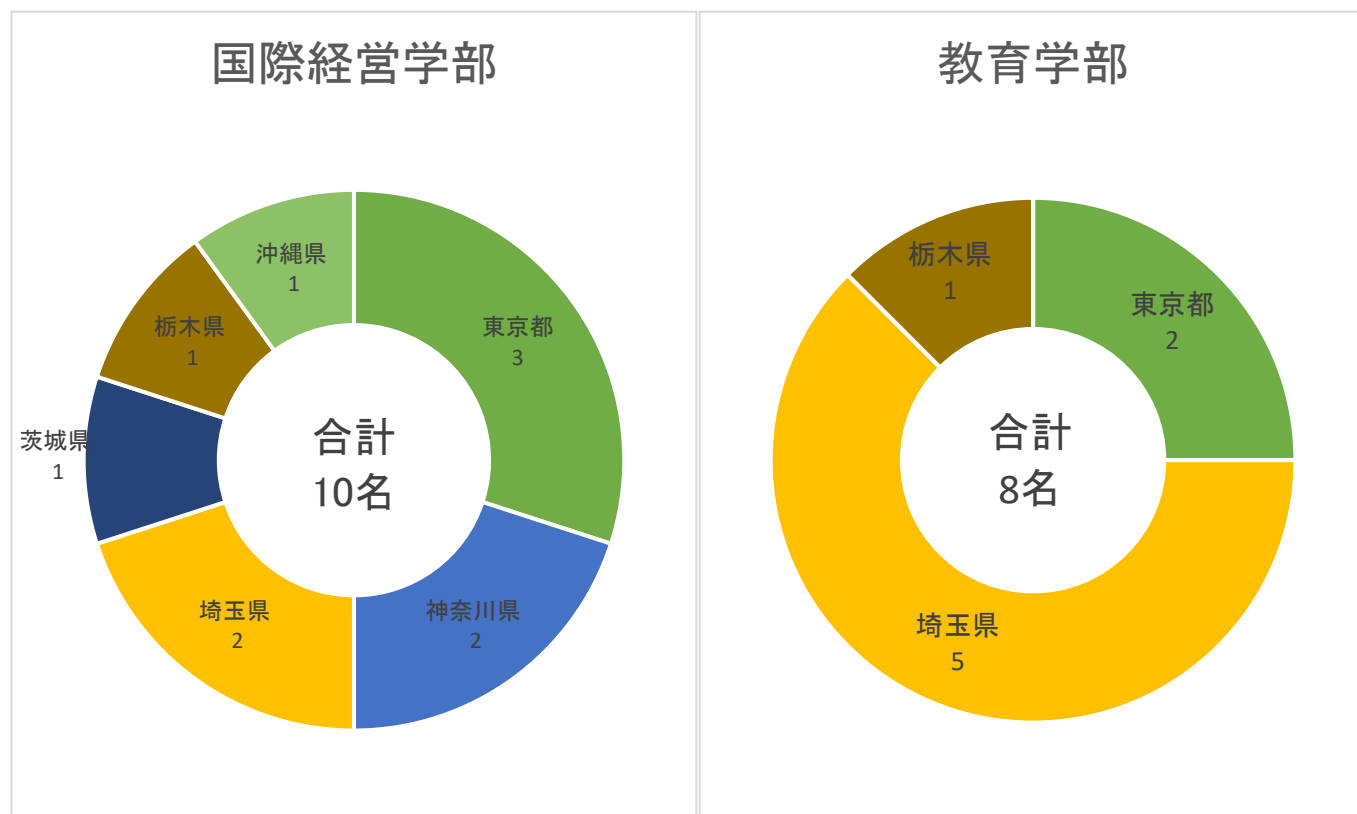


2024 年度「卒業生アンケート」

1. 調査対象者：2022 年度（2022 年 9 月、2023 年 3 月）卒業生 336 名
（内訳：国際経営学部 200 名 教育学部 136 名）
2. 回 答 数：両学部合計 18 名
国際経営学部 10 名（男性：3 名、女性：7 名）
教育学部 8 名（男性：7 名、女性：1 名）
3. 回 答 率：5.4%
4. 実施期間：2025 年 3 月 28 日（金）～ 2025 年 4 月 11 日（金）
5. 実施方法：Microsoft Forms を利用した web アンケート

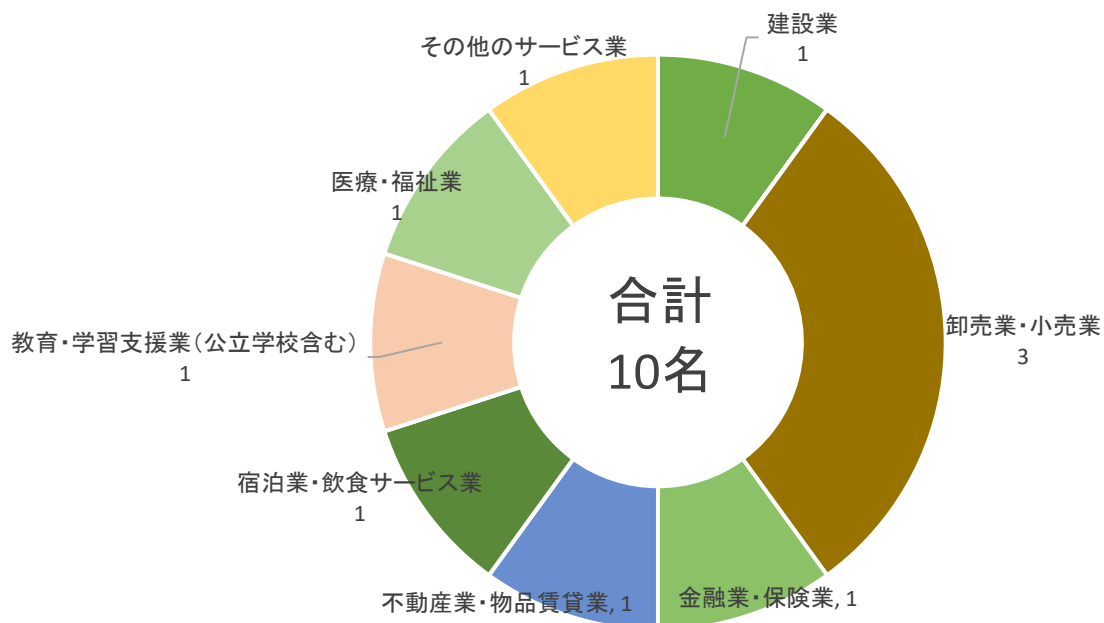
回答結果：

問 4 勤務先の所在地を選択してください

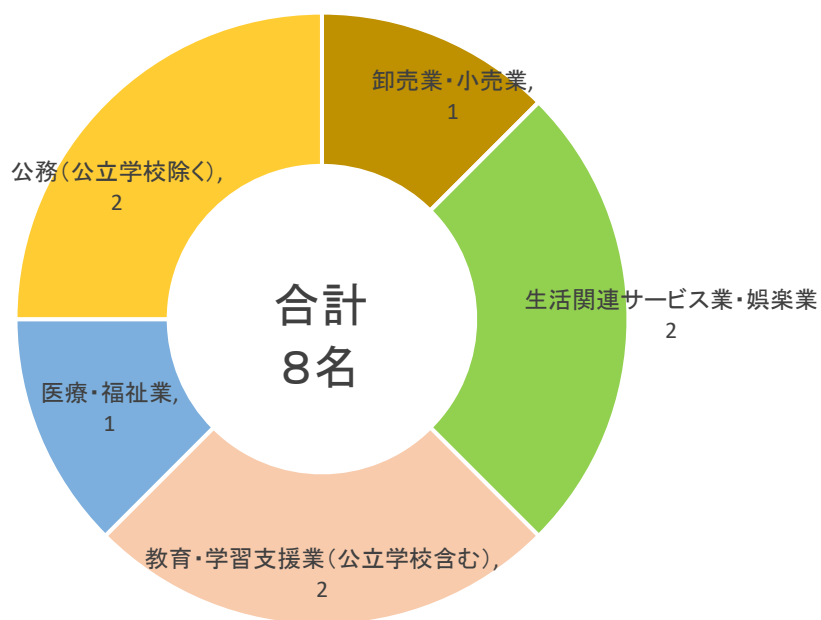


問5 勤務先の主たる業種を選択してください

国際経営学部

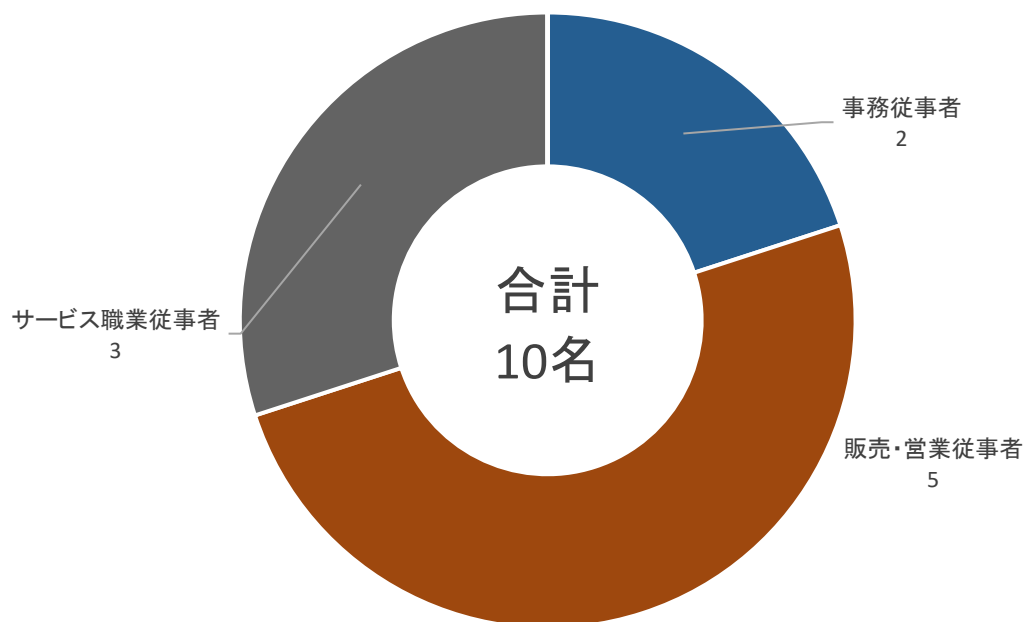


教育学部

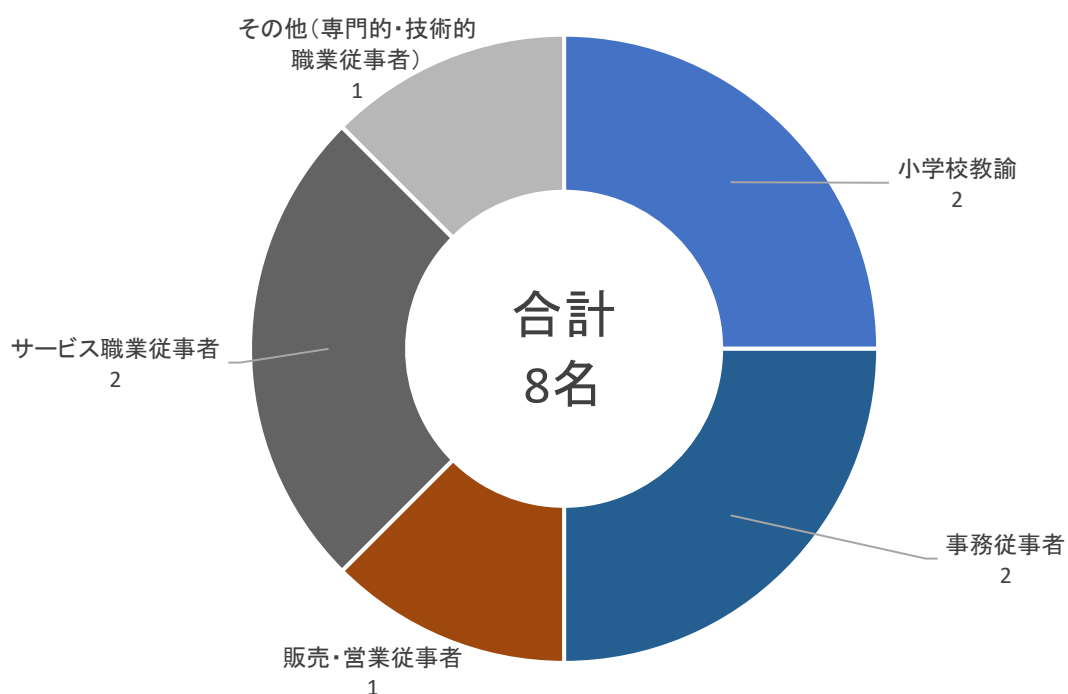


問6 勤務先の主たる職種を選択してください

国際経営学部

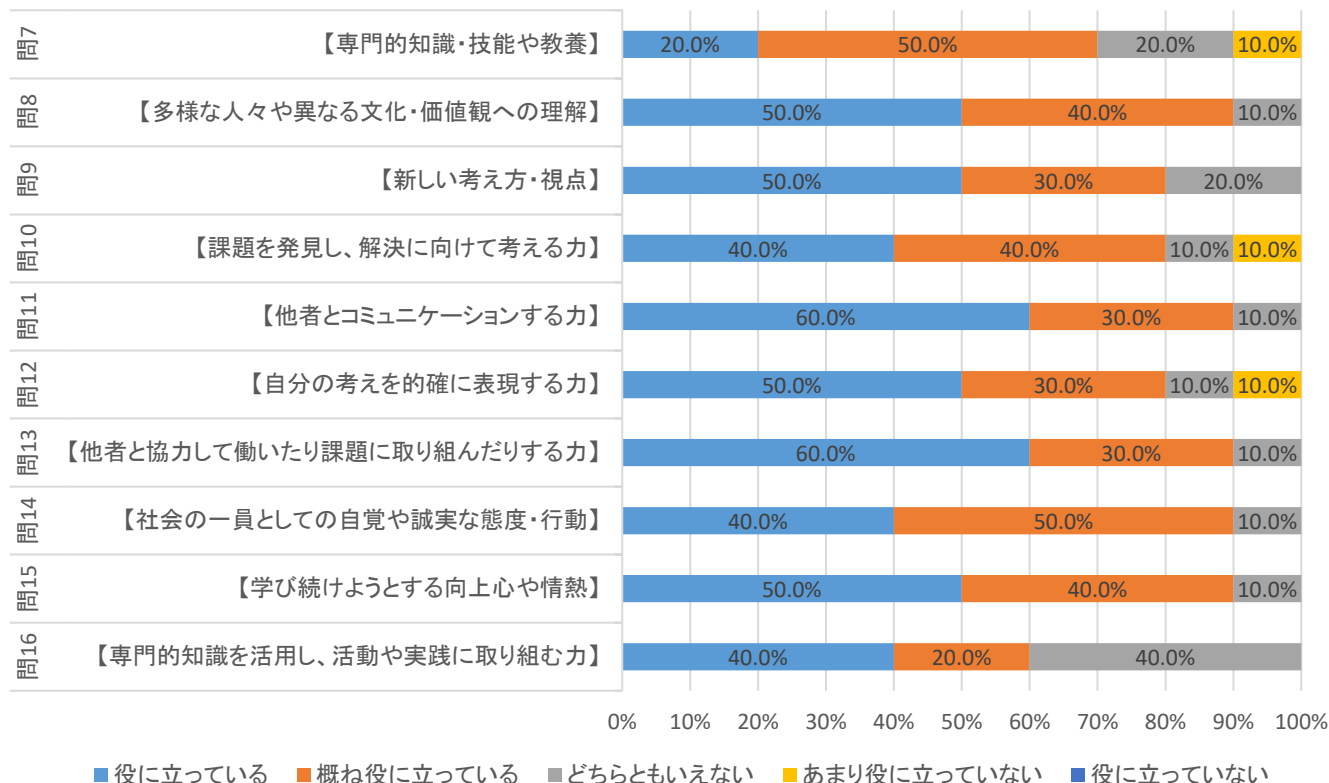


教育学部

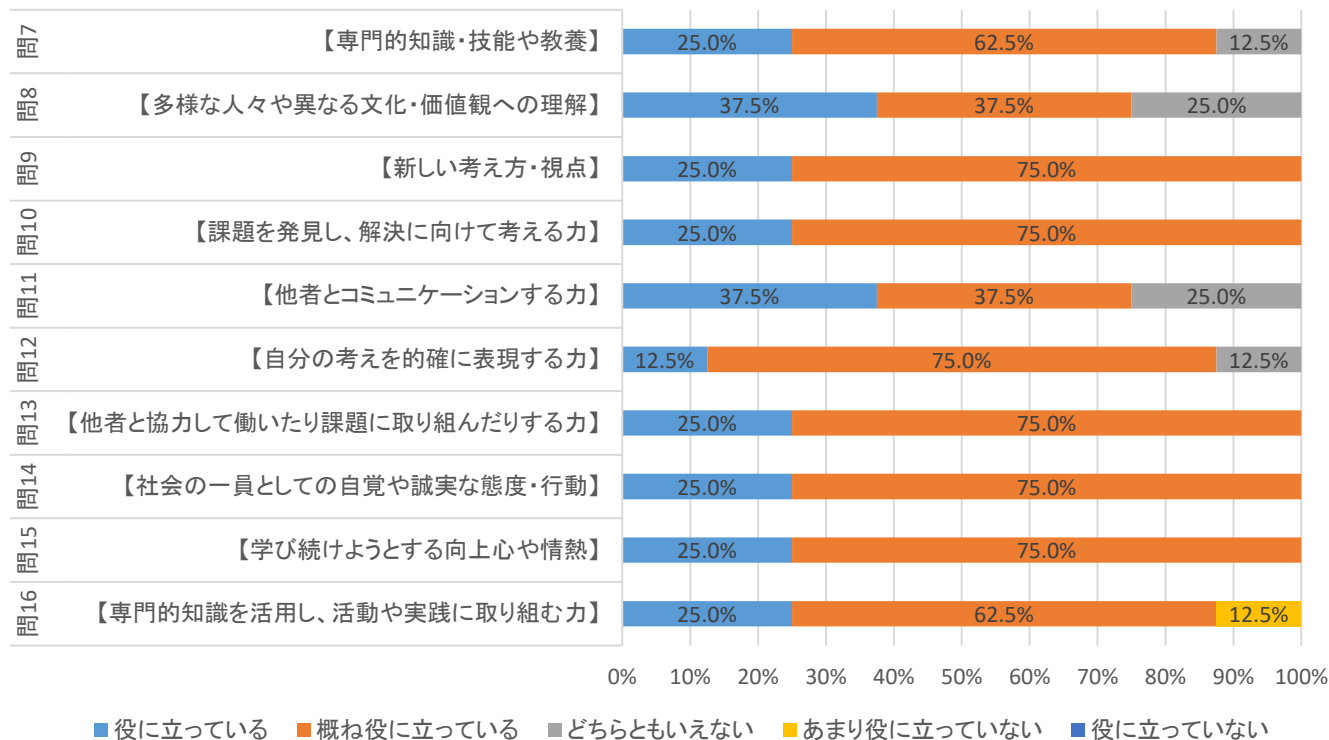


【ディプロマポリシー（学修成果の目標）の達成について】
 本学の教育は実社会においてどの程度役に立っていると思いますか

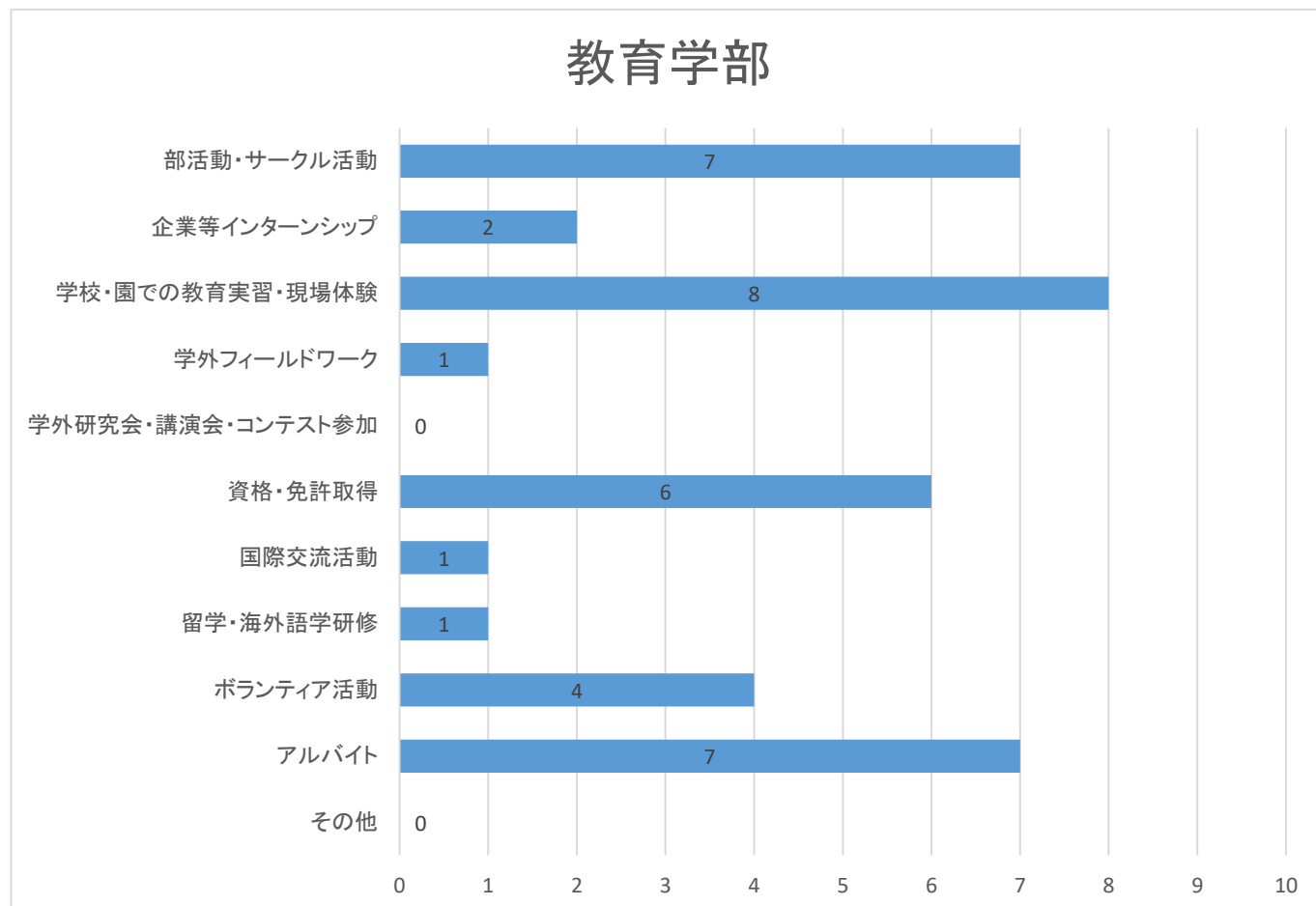
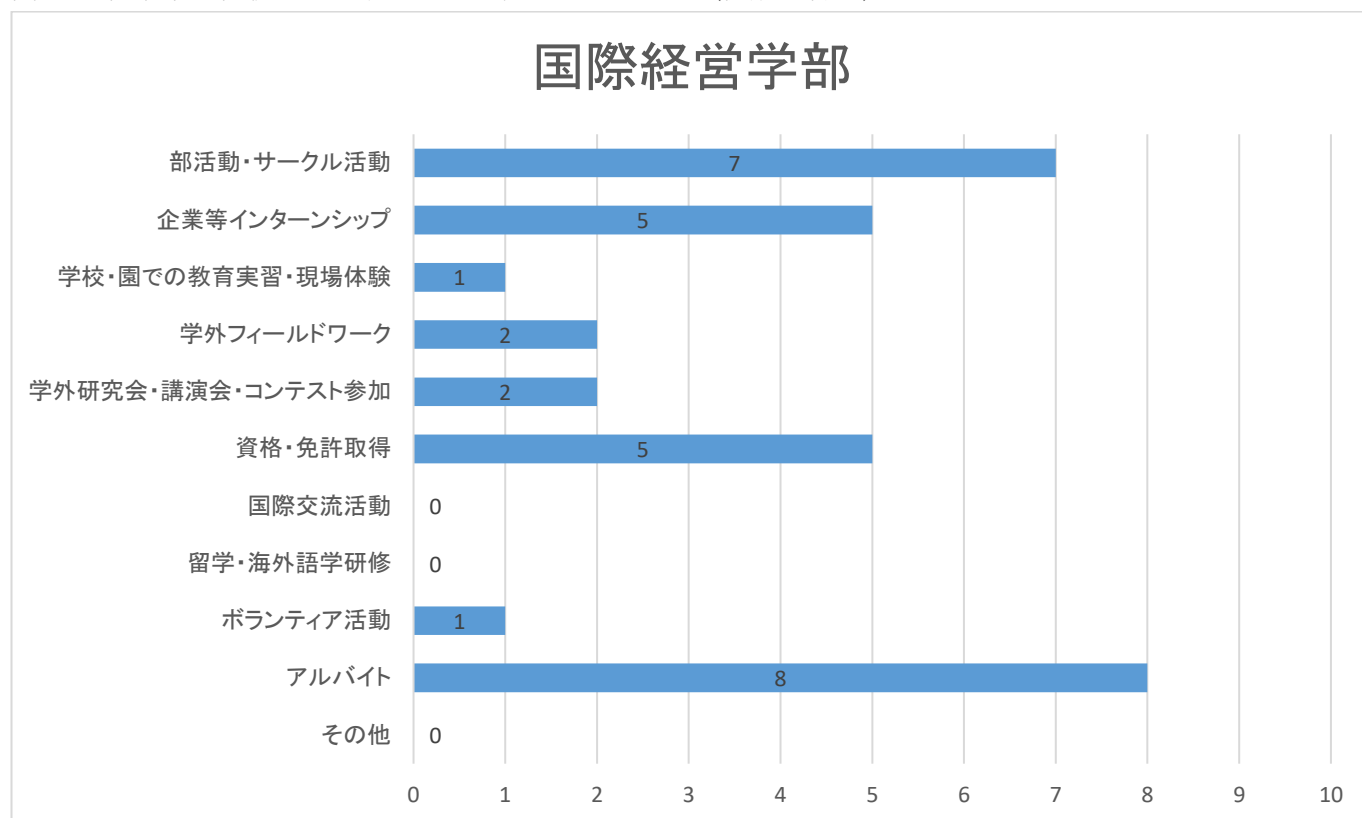
国際経営学部



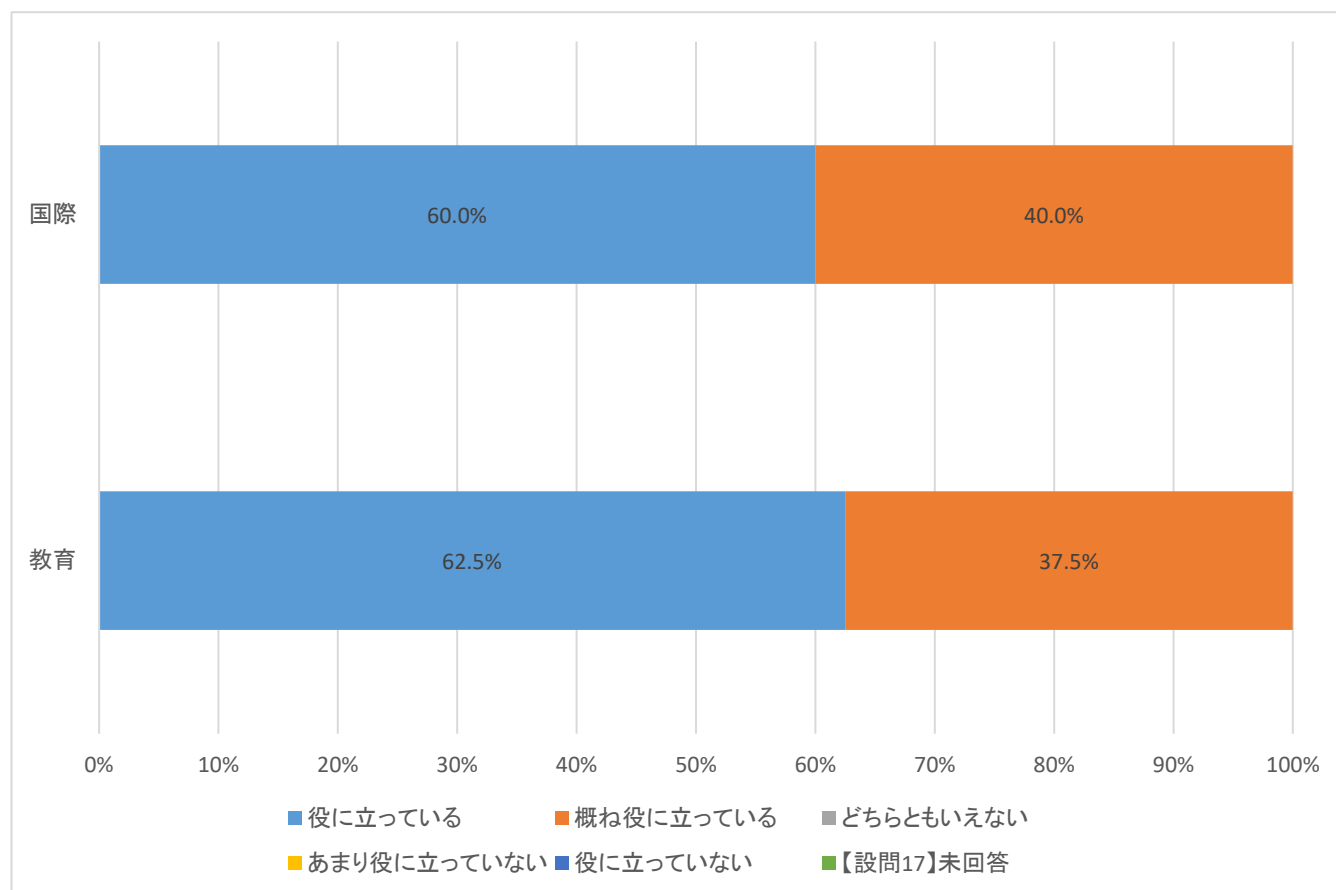
教育学部



問 17 在学中に経験した活動について教えてください（複数回答可）



問 18 在学中に経験した活動について、実社会においてどの程度役に立っていると思いますか



問 19 問 18 の回答理由をご回答ください（自由記述）

- ・アルバイトは、やっておくことにより多種多様な大人の方々と接し方を自然と楽しく身につけることができる。もしくは、触れておくことができる。そのため卒業後の社会人になっても耐性がある程度できているため臆することなく大人の方々と接することができると思ったから。（国際経営）
- ・様々な企業を知ることができ、在学中に身につけたスキルを生かしていると思うから（国際経営）
- ・社会に出た時に役に立ったから（国際経営）
- ・学生生活では経験できないことを学習することができたから（国際経営）
- ・アルバイトでの接客業の経験は、今の仕事へのきっかけになっている。またコンテストでの経験は、自分の意見や考えをチームで共有し形にしていくという過程が、現場で起きた問題解決に繋がっており、自ら発言する力も発揮出来ていると感じているから。（国際経営）
- ・組織のなかでの自分の役割を考えながら他者と関われるようになったから。（国際経営）
- ・コミュニケーション能力やチームで何かを成し遂げることを実際に体験することができたから。（国際経営）
- ・学部内・学部外でも人との係わり、社会との関わり方を学ぶことが出来たと感じるから。（国際経営）
- ・様々な価値観や個性の持ち主との関わりが上手くなったから。また実践において、自分の向き不向きを知ることができたから。（教育）
- ・高校生までは課題や問題が与えられる立場にあり、それを解決することで成長につながっていたのに対し、大学生になり様々な活動の中で、自分自身で課題を発見することが必要になり、これが社会においてとても役に立っていると感じているから。（教育）
- ・大学生活で経験したことは社会でも役に立ち、知識はどれだけあっても良いと思うから（教育）
- ・人との関わりや職場での専門的な内容に生かしているから（教育）
- ・社会経験を積むことでコミュニケーション能力が向上できたから（教育）

問 20 本アンケートを通じて、本学の教育活動等に対して感じたこと・お気づきになったことなどがありましたら、ご意見をお聞かせください（自由記述）

- ・大学は自ら学ぶ場所。大学生活を振り返って改めて理解しました。資格取得に関しては、社会人になると本当に忙しく、勉強のやる気が起きません。後輩たちには学生のうちにアルバイトをしながら資格取得を目指すことを強くおすすめします。
- ・私は教育学部でしたが、公務員を目指すこととなりキャリア開発の単位を受講しておりました。これが就職活動に大変参考になり、目指していた市役所職員となることができました。
- ・社会に出ると分からないことが日常茶飯事に出てくるので、調べ上げる力をつけられるようにするといいいと思いました。
- ・学校で学んだことが自分の経験として社会に出ても役にたつことを実感しました。
- ・教育に関する改善や向上心を感じ、このような大学で学べたことを誇りに思います。